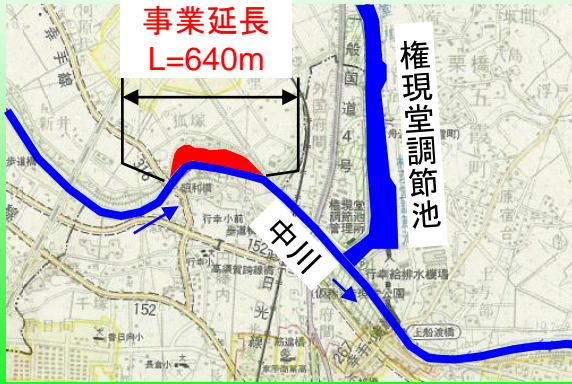
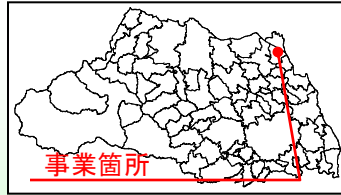


位置図



事業概要

開始年度 平成21年度
 事業延長 L=640m
 事業内容 遊歩道 L=985m
 ワンド整備工 1式
 広場整備工 A=2,500㎡
 休憩施設 1式

地域の声

- ・大自然を身近に感じられる
- ・広々とした景観が楽しめる

事業経緯

中川(栗橋町狐塚)
水辺再生検討会議

- ・第1回(H21.5.25)
- ・第2回(H21.7.1)
- ・第3回(H21.8.26)
- ・第4回(H21.9.30)

測量・設計(H21.5~H21.12)

工事(H22.3~H24.3)

ワークショップメンバー

さって市民環境ネット、埼玉県生態系保護協会栗橋大利根支部長、狐塚自治会長、栗橋町、幸手市、寄居林業事務所、県



地域活動

- ・川の国応援団美化活動団体が清掃活動を実施

整備の状況

整備前



雑草が繁り水辺に近づけない(H21.5撮影)

整備後



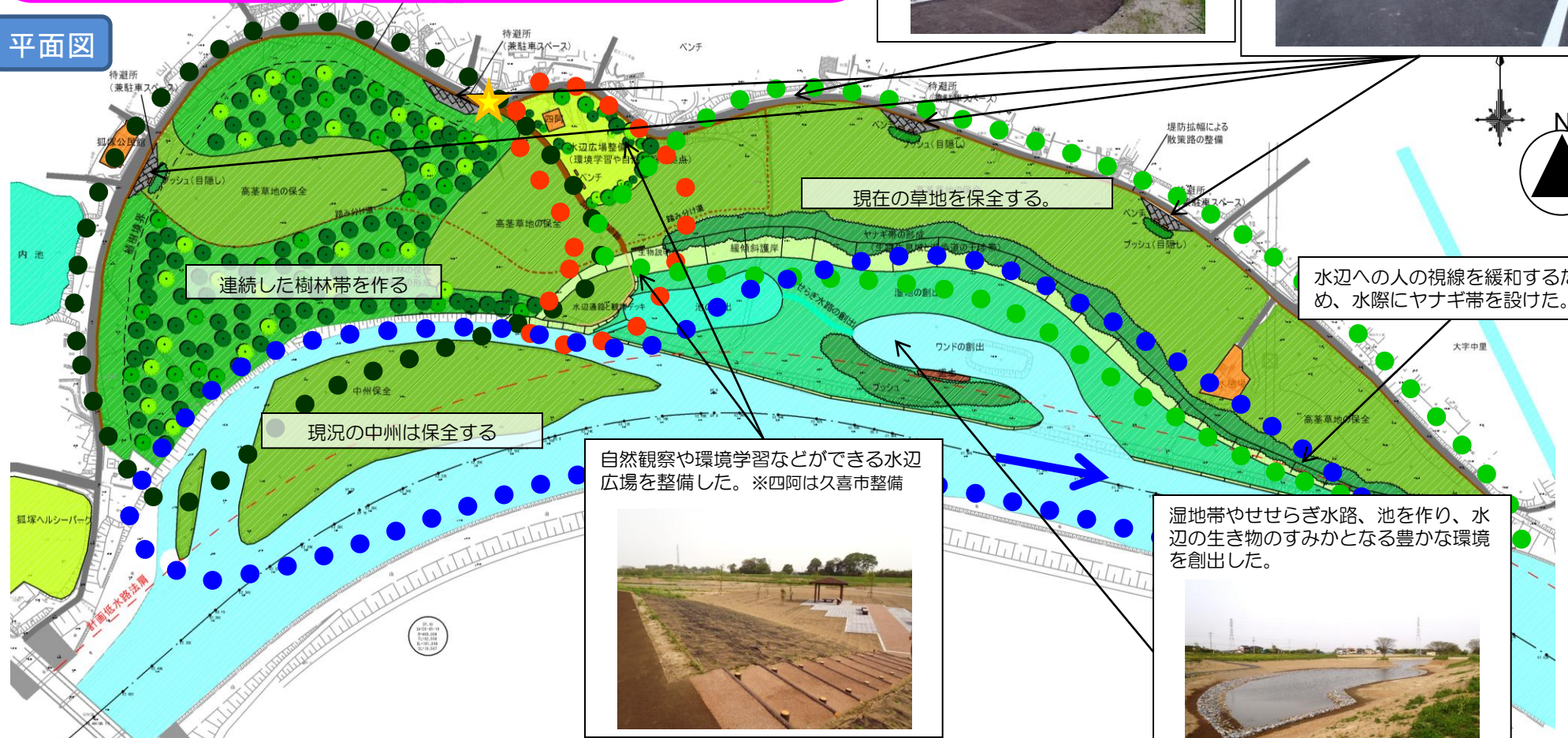
遊歩道や生物のすみかとなるワンドを整備し水辺に親しめるようになった(H23.5撮影)

**整備テーマ
ポイント**

良質な水辺環境を活かし自然環境の保全・創出を図るとともに、自然観察など人の利活用に配慮した水辺を創出する

- ポイント①: 人の利活用ゾーンと自然環境保全ゾーンを区分する
- ポイント②: 人の利活用ゾーンでは、水辺利用拠点や水辺沿いの観察デッキなどを整備し、水辺に親しめる空間を創出する
- ポイント③: 自然環境保全ゾーンでは、樹林帯や湿地帯、池等の形成、一部の現況高茎草を確保することで、様々な生物の生息環境を保全する

平面図



堤防の上に安全に歩くことができる散策路を整備した。



散策路の途中には休憩施設や自然を観察できる平場を整備し、駐車スペースとしても活用できるようにした。



連続した樹林帯を作る

現在の草地を保全する。

現況の中州は保全する

自然観察や環境学習などができる水辺広場を整備した。※四阿は久喜市整備



水辺への人の視線を緩和するため、水際にヤナギ帯を設けた。

湿地帯やせせらぎ水路、池を作り、水辺の生き物のすみかとなる豊かな環境を創出した。



森の生物ゾーン



水辺の生物ゾーン



自然観察・環境学習ゾーン



草原の生物ゾーン



★: ビューポイント